

科目名	実用英語(TOEIC)		英文表記	Practical English		2015年2月25日				
科目コード	5003									
教員名:角田キャティー、星野恵里子 技術職員名:n/a						作成				
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間		
全学科			5年	必	学修	2単位	講義	前期		
科目目標	多読図書の音声教材やCDなどのマルチメディアを利用した多聴学習および音読練習(リピーティング・オーバーラッピング・シャドーイングなど)、TOEIC 対策、語彙力強化などを通し、TOEICのリスニング部門に対応できる基礎的聴解力を身につける。読む、聞く、話すに関する英語の基礎力を発展させ、英語で自分の専門分野に関する簡単なグループプレゼンテーションができるようになる。									
総合評価	外部試験 25% + 小テスト 30% + シャドウイングテスト 10% + リスニング(多聴ログ& Mreader)15% + グループプレゼンテーション20%. 学年末評価は60%以上を合格とする。									
科目目標達成度とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック				セルフチェック		
	40%	① TOEICテストに対応できる英語の基礎力を身につける。(機C-5、情C-1、MC-3、生C-2)	英語の基礎力を身につけているか、TOEIC IPテストと多聴ログ & MReaderで評価する。	理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)				
	40%	② シャドーイングの練習等を通して、正しい発音を身につけ、リスニング力を強化する。また単語力、英文理解力を身につける。(機C-5、情C-1、MC-3、生C-2)	正しい発音とリスニング力を身につけているかシャドウイングテスト(2回)で、単語力と英文理解力を身につけているか小テスト(6回)で評価する。	毎回の単語小テストで平均85点以上とることができる。語の正しい発音や強勢、文のイントネーション、英文の区切りを理解し、流ちょうにシャドウイングができるようになる。	毎回の単語小テストで平均80-70点以上とることができる。語の正しい発音や強勢、文の基本的なイントネーション、英文の区切りを理解し、シャドウイングができるようになる。	毎回の単語小テストで平均60点以上とることができる。よく使う語の正しい発音や強勢、シャドウイングができるようになる。				
	20%	③ 英語で簡単なプレゼンテーションができるようになる。プレゼンテーションに対して英語で質問ができるようになる。(機C-5、情C-1、MC-3、生C-2)	プレゼンテーションができるかグループプレゼンテーションを実施し評価する。	原稿を見ないで、正確な英語を聴衆にアイコンタクトを持ってプレゼンテーションを実施できる。	原稿を時々見ながら、正確な英語を聴衆にアイコンタクトを持ってプレゼンテーションを実施できる。	原稿を見ながら、正確な英語プレゼンテーションを実施できる。				
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学	
	◎	○	○		JABEEプログラム教育目標	C-5	C-1	C-3	C-2	
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合										
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物)	総合評価	セルフチェック			
評価項目		0	30	0	70	100				
基礎的理解	①②		30		10	40				
応用力(実践・専門・融合)	①				25	25				
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	②③				20	20				
主体的・継続的学修意欲	①				15	15				
授業概要、方針、履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> Vocabulary 小テストを実施して「語彙力強化」を目指し、TOEIC受験に対応できる基礎的知識を養う。 多読図書の音声教材やDVDなどのマルチメディア等を利用した多聴学習を行う。 TOEIC テストの出題形式に慣れるための問題などを練習し、TOEIC IPテストに備える。 速読英単語等を使ってシャドーイングの練習を行うとともに、単語力と読解力を身につける。 MReader および多聴 Log の記録・保存・管理をする。 									
教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> MReader (ONLINE教材) 多読図書音声教材、マルチメディア教材など。 「速読英単語」必修編(Z会出版)・新 TOEICテスト直前の技術 (アルク出版) http://www.english-test.net/toEIC/ and http://www.english-test.net/ (ONLINE教材) 									

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習(予習・復習)内容	セルフチェック
1	イントロダクション、多聴、プレゼン準備	4	・シラバスの解説、 ・速読英単語21-22、 ・2000語以上の多聴(多読)を行う。	単語学習 TOEIC対策	
2	シャドウイング、多聴、TOEIC対策	4	TOEIC対策-模擬試験 ・2000語以上の多聴(多読)を行う。 ・速単21, 22	単語学習 TOEIC対策	
3	シャドウイング、多聴、TOEIC対策、プレゼンテーションを準備	4	* Quiz 1 速読英単語確認小テスト(21, 22) ・グループプレゼンテーションを準備 ・2000語以上の多聴(多読)を行う。	単語学習 TOEIC対策	
4	シャドウイング、多聴、TOEIC対策、プレゼンテーションを準備	4	* Quiz 2 速読英単語確認小テスト(23, 24) ・英語で自分の専門分野に関する簡単なプレゼンテーションを実施 ・2000語以上の多聴(多読)を行う。	単語学習 TOEIC対策	
5	シャドウイング、多聴、TOEIC対策、プレゼンテーションを準備	4	* Quiz 3 速読英単語確認小テスト(25, 26) ・英語で自分の専門分野に関する簡単なプレゼンテーションを実施 ・2000語以上の多聴(多読)を行う。	単語学習 TOEIC対策	
6	シャドウイング、多聴、TOEIC対策、プレゼンテーションを準備	4	* Quiz 4 速読英単語確認小テスト(27, 28) ・英語で自分の専門分野に関する簡単なプレゼンテーションを実施 ・2000語以上の多聴(多読)を行う。	単語学習 TOEIC対策	
7	シャドウイング、多聴、TOEIC対策、プレゼンテーションを準備	4	* Quiz 5 速読英単語確認小テスト(29, 30) ・英語で自分の専門分野に関する簡単なプレゼンテーションを実施 ・2000語以上の多聴(多読)を行う。	単語学習 TOEIC対策	
8	シャドウイング、多聴、TOEIC対策	4	・TOEIC対策-模擬試験 ・2000語以上の多聴(多読)を行う。 ・速単41, 42	単語学習 シャドウイング TOEIC対策	
9	シャドウイング、多聴、TOEIC対策	4	* 音読テスト1 速読英単語シャドウイングテスト(41-42) ・2000語以上の多聴(多読)を行う。	単語学習 シャドウイング TOEIC対策	
10	シャドウイング、多聴、TOEIC対策	4	* Quiz 6 速読英単語確認小テスト(43, 44) ・2000語以上の多聴(多読)を行う。	単語学習 シャドウイング TOEIC対策	
11	シャドウイング、多聴、TOEIC対策	4	・TOEIC対策-模擬試験 ・2000語以上の多聴(多読)を行う。	単語学習 TOEIC対策	
12	シャドウイング、多聴、TOEIC対策	4	TOEIC IP	単語学習 TOEIC対策	
13	シャドウイング、多聴	4	* 音読テスト2 速読英単語シャドウイングテスト(45-46) ・2000語以上の多聴(多読)を行う。	単語学習 シャドウイング	
14	映画鑑賞	4	・英語字幕を読みながら映画鑑賞(*Quiz 7)	映画鑑賞	
15	映画鑑賞	4	・英語字幕を読みながら映画鑑賞(*Quiz 8)	映画鑑賞	
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23	後期中間試験(行事予定で変更可)				
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験				
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	多聴・多読(多聴ログ 10,000 語 & Mreader 20,000 語)			各2時間×13回	
②	TOEIC対策			各2時間×9回	
③	速読英単語			各2時間×8回	
備考欄					
(共通記述) ・この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) ・この科目の主たる関連科目は英語(1年-4年)、実用英語(TOEIC)(1年-4年) その他必要事項は各コースで決める。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)

|

前期科目は前期部分のみ記述、後期部分は後期のみ記述し、実施期間が見た目すぐわかるようにする。
(開講しない時期は空欄)

多聴を行う？

(左に文字を寄せたほうがいいのでは？)

5年生も「自分や身近なこと」でいいのか？文法の？

